



学校に鳥を呼ぼう 小学校 生活科 (2年)

静岡県浜松市立東小学校 山崎章成

本時の学習内容

単元・項目

生活科 2年 学校に鳥を呼ぼう
調べた事を鳥博士に発表しよう

対応する学習指導要領の内容

生活科 2年 内容

- (5)身近な自然を観察したり,季節や地域の行事にかかわる活動を行ったりして,四季の変化や季節によって生活の様子が変わること気付く。
- (7)動物を飼ったり植物を育てたりして,それらの育つ場所,変化や成長の様子に関心をもち,また,それらは生命をもっていることや成長していることに気付き,生き物への親しみをもち,大切にすることができるようになる。

指導目標

市の中心部に位置する学校の子どもたちに,野鳥観察を通して命の尊さや不可思議さに気付かせると共に,子どもたちが環境に働きかける大切さを実感を通して学ばせる。

コンピュータ活用のねらい

テレビ会議システムを使うことによって,学校に招くことのできない専門家と交流し,授業の質を高めようと考えた。子どもたちは,モニターを通して発表することになり,より分かりやすく発表しようと心がけ,専門家からは貴重なアドバイスをいただくことができた。

今まで調べてきたことをプレゼンテーションの形式にまとめ,発表に役立てようと考えた。

コンピュータ活用のアイデア

- アイデア**
- ・テレビ会議システムを使い,専門家と交流学习をする。
 - ・子どもたちがデジタルカメラで撮影したデータをサーバーに保存する。
 - ・子どもの調べ学習に役立つ情報を集め,W ebページのリンク集を作る。

- メリット**
- ・表現力を磨くと共に,新たな知識を得ることができる。
 - ・データを蓄積することで学習が深まり,新たな課題を見出すことができる。
 - ・W ebページの活用が容易になり,知りたい情報を得やすくなる。



学習指導案略案

単元指導計画 (全体時間 60時間)		
(1)ミカン大作戦 学校にどんな鳥が来るかな		5時間
(2)鳥のことを調べる計画を立てよう		5時間
(3)課題ごとにプロジェクトチームを作って調べよう		30時間
(4)調べたことをまとめて、鳥博士に発表しよう		10時間
(5)学校に鳥を呼ぼうのプレゼンテーションを作ろう		10時間
本時の目標と展開 (本時はその41～50時間目) 平成12年11月, 2年生40名		
学校に来る鳥を観察し, 触れ合う方法についてプロジェクトチームごとに調べてきたことを, テレビ会議システムを通して遠隔地にいる野鳥の専門家に発表し, 交流することができる。		
学習活動	機器・教材・教具	指導上の留意点
本時のめあてをもつ。		チームごとに調べてきたことを, 分かりやすく発表するように声をかける。
プロジェクトチームごとに発表しよう。	ノート型コンピュータ 教材提示装置 液晶プロジェクター	最初にチームごとに発表し合い, 鳥博士にはテレビ会議システムを使って, その様子を見てもらうようにする。 ・実物を使ったり演技をしたりして発表できるチームは積極的に挑戦するように促す。 ・Webページ形式で発表するチームも, 機器だけに頼ることなく, 自分の意見や感想を付け加えるように促す。
代表のチームの発表を鳥博士に見てもらおう。	テレビ会議システム	時間の関係で, 鳥博士の前で発表するのは3つのチームとするが, 全チームの発表の様子を鳥博士に見てもらっていることを子どもたちに伝える。
鳥博士と話し合おう	テレビ会議システム	鳥博士のお話を聞いた後, さらに知りたいことがある場合は, どの子も進んで鳥博士に聞くように働きかける。

実践のポイント

テレビ会議で交流学习

子どもたちの学習が, 教室だけで解決できないことは多くある。そんな課題を解決する一つの方法として, 学習内容に精通している人とテレビ会議システムを使って交流する学習を行った。そこでは, 構想の段階から授業者と専門家が課題を共有することが大切。単元の目標に到達させるために, 専門家にどんな説明をしてもらうのが効果的かを事前に研修すると, 教師には気付かなかったポイントが浮き彫りになったり, 専門的な知識を小学生のレベルに合わせた見せ方が見出せたりする。また, 交流学习は, 学校での学びが地域と結びついていることを子どもたちに実感させることにも役立つ。



Webページにまとめる

子どもたちがデジタルカメラで撮影したデータや資料を個人ごとにサーバーに保存しておき、学習の節目ごとにWebページ形式にまとめてさせた。プレゼンテーションとして発表することもでき、一時間ごとの学習につながりをもたせることができた。

役立つリンク集

子どもたちが調べたい内容を、教師がインターネットのWebページから探しておき、リンク集にまとめておく。調べたいことがあっても、どうすればよいのかが分からない子どもは数多くいる。そうした子どもたちにも抵抗なくインターネットにアクセスすることができる。

子どもたちの反応

意欲と成果を生み出す

モニター画面に鳥のお面を付けた鳥博士が映り、「今から、みんなが調べてきたことを見せてもらいます。知りたいことがあったら、どんなことでも質問してもいいですよ。」と、子どもたちに呼びかけると、一斉に歓声が上がった。子どもたちは、モニターの向こうにいる専門家に、自分たちの発表を伝えようと精一杯努力することができた。

子ども自身が学習を広げる

個人フォルダの中にある自分が取ったデジタルカメラの写真データを見ていくと、その写真を通して、自分の学習の足跡を振り返ることができる。「調べてきたことを順に並べると違いがよく分かるね。」あのとき自分はこんなことを考えていたのか。」などのつぶやきがいくつも聞こえてきた。さらには、今後の見通しが持てることもあり、点であった子どもたちの学習を線にも面にも広げていくことができた。

広がる調べ学習

学び方を身に付けるためには、ある程度のスキルが必要になる。その一つの方法として姿勢のリンク集が役に立つ。情報の探し方が分かった子どもたちは、やがて教師の手を離れ、自分なりの方法で探していく。「これを使うと調べたいことが簡単に分かるね。」と喜ぶ子や、先生が作ってくれたページからいろいろ調べていったら、こんなページが見つかった。」と、自慢げに話しかけてくれる子が何人もいた。

ソフトウェア

使用形態 : 調べ学習 ツール 教材提示

ソフトウェア : 一太郎スマイル, ホームページビルダー (教師用), インターネットエクスプローラー

使用OS : Windows 98

ハードウェア

使用機種 : PC-VA360D 20台

周辺機器 : デジタルカメラ, 液晶プロジェクター, プリンタ, テレビ会議システム, 教材提示装置